

受賞おめでとうございます

谷本茂樹さんに北海道産業貢献賞



谷本茂樹さん（清住）が、平成26年度北海道産業貢献賞（農業関係功労者）を受賞しました。2月10日に札幌市で行われた受賞式で表彰状が贈られました。

谷本さんは、平成11年7月に町農業委員に就任以来5期15年間務め、この間、平成14年から会長代理、平成20年から26年7月まで会長を務めました。

農地の適正利用のため農業経営基盤強化促進法における権利の移動や、農地流動化あつせん事業など、国が進める担い手農家への農地集積をはじめ、農業者年金の普及活動にも尽力されました。

農業担い手対策推進協議会会長も務めたほか、酪農経営者としても乳牛の改良など管内農業発展にも寄与してきました。

2月13日に役場を訪れた谷本さんは「受賞は多くの皆さんのおかげです」と話していました。

地域でつくる防災訓練



今年度第2弾 初の冬季訓練 末広地域住民ら約60人が参加

平成26年度訓子府町冬季防災訓練を1月31日に末広地域集会所で実施しました。

防災訓練は、町が実施する防災事業計画の大きな事業の一つで、本年度は、主に地域が主体となって企画・運営する実践的な訓練を行っており、秋には地震と風水害を想定し日出地域で実施、今回、初の冬季訓練は末広地域を対象とし、暴風雪による送電線切断で長時間停電という想定で実施しました。

地域集会所を避難所とし、室温5度の中、ブルーシートと段ボールの上に座り、ランタンと懐中電灯の明かりだけで一定時間過ごす寒さ体験をメインとしました。

災害対策本部のある役場からの指示で避難所に毛布や寝袋、ストーブなどの暖房器具を運び、ストーブへの給油体験も行いました。

寒さ体験終了後は、消防救急隊員による応急手当講習や、保健師による血圧測定、町の防災メール登録、西野直樹防災士による講話などが行われました。

地域の方は「寒く、暗い状態が短い時間の体験でしたが、これが長く続くと耐えられない。冬季災害の備えの重要さが分かりました」と防災対策の大切さを認識していました。

入学おめでとう



昨年の訓小入学式

新入学児は ◆訓子府小学校に33人

入学を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

入学式は、4月6日(月)です。皆さん元気よく入学式を迎えてください。

○問合せ 教育委員会管理課
(☎ 47-2122 役場2階 窓口14番)

「みんなの力で復興を」

岩手県大槌町・碓川町長が 訓子府消防100年で記念講演

訓子府消防100年の記念講演講師として、岩手県大槌町の碓川 豊町長が来町しました。碓川町長は「逆境から発想する町」と題して、2月8日町公民館で消防団員ら約200人を前に講演しました。

大槌町は、平成23年3月11日の東日本大震災で死者800人以上、家屋被害4,200世帯以上に上るなど大きな被害を受けた町です。

町の復興途上の中、来町された碓川町長は、東日本大震災発生時の凄惨な津波被害の映像などを見せながら、復興への苦労などを話し、「希

望の大槌への挑戦。海の見えるつい散歩したくなるこだわりのある美しいまち」を復興計画の柱に据え、町民の力を結集し、支援団体や企業などと連携、未来へ引き継ぐ日本一のまちづくりを進めている」と逆境から生まれたまちづくりビジョンを説明しました。

会場には記念式典出席の消防団員のほか、町内外から一般の方も参加し、碓川町長の話に耳を傾けていました。(記念式典の様子は20ページに)



介護予防や 認知症対策などが 検討課題

策定委員会が町長に答申

■ 高齢者保健福祉計画 ■ 介護保険事業計画



昨年2月から協議を重ねてきた訓子府町介護保険事業計画策定委員会（中沢洋充委員長）が2月6日、町長に「訓子府町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けた検討事項などを内容とした答申を行いました。

この計画は、平成27年度から3年間の介護保険事業や高齢者福祉施策の方針を定めるものです。

策定委員会では、答申書の中に介護予防や認知症対策への取り組み、地域連携を生かした高齢者の生活支援体制の構築に関すること、負担感の少ない介護保険料設定などを検討課題として盛り込みました。

中沢委員長が役場を訪れ、菊池町長に答申を手渡しました。

さむさむまつり中止 残念



出番を待っていた雪像や滑り台もまつり中止で出番なく

2月1日に開催を予定していました訓子府の冬の一大イベント「第36回さむさむまつり」は、吹雪のため中止となりました。

開催に向けて寒さの中、連日雪像造りをしていた青年団体や多くの子どもたちなど、まつりを心待ちにしていた多くの皆さんにとって大変残念な結果となってしまいました。開催準備など大変ご苦労様でした。